

第1回兵庫県社会福祉士会会員実態調査 報告

兵庫県社会福祉士会 組織力向上担当理事

兵庫県社会福祉士会（以下、本会）会員の本会活動に対する意識を主とし、本会の組織力向上に関する意識等について調査を行った結果について報告します。

1. 調査目的

本会の活動及び入会のきっかけ並びに組織力向上のために必要なもの等を調査し、現状の入会促進戦略や実施事業が会員ニーズに対して妥当なのか、また、今後の本会事業等の戦略の改善方法を検討する。

2. 調査方法

対象：2024年1月10日時点での本会全会員（1,733名）

期間：2024年1月10日～1月31日

方法：インターネットによる無記名記述アンケート

3. 回答者数

137名（回答率7.9%）

4. 調査結果（概要）

「本会に所属して役立っていること・感じているメリット」の質問に対して、ほぼ全ての回答が、「ネットワーク形成」、「研修・自己研鑽」、「情報収集」に集約されている。「ホームページ、メーリングリスト、このとり通信、会員同士の情報交換等でどんな情報を得ているか」については、「最新情報・研修情報・他分野の情報・世の中の動き」が挙げられた。

委員会・ブロック活動を通じてネットワークが形成されることが多いと思われるが、活動に参加しなければネットワーク形成等のメリットが感じられにくくなっている。ブロック活動は、日程が合わずに参加していない回答もあるが、知り合いが少ない場合は初回参加のハードルも高くなるという意見もあった。

その他、調査結果については本会会員専用ホームページにて掲載しているので参照されたい。

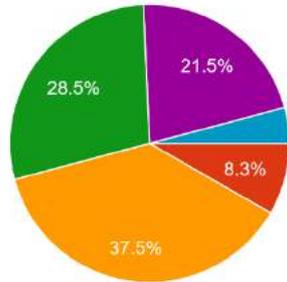
5. 所感

当該調査の実施は今回が初めてだったとはいえ、回答率が低かったことは反省点である。しかし、本調査を定期的に行うことで、回答者の本調査に対する意識が向上し、それに伴い回答率も向上するのではないかと考えられる。全会員を対象とした本会の基本的な認識等に関する調査を今後も2年に1回は行うことが重要である。

「入会動機」については「専門職として当然」「専門的知識等を得られる」という回答が多数を占めており、入会支援策の実施や懇親会の開催等に関する回答はごくわずかであった。また、「入会後に感じるメリット」としては、「人とのつながり」「ネットワーク」「研修」という意見が大部分であり、魅力ある研修や委員会活動・ブロック活動を通じたネットワーク形成が望まれる。各ブロックにおいても、ブロック役員からのブロック活動参加の声かけや、ブロック活動に参加しやすい雰囲気づくりが求められると感じる。また、活動内容について、このとり通信等を通じて周知し、どんな活動をしているのかを発信していく広報も必要である。

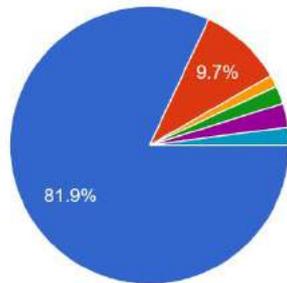
今後は、基礎研修及び認証研修等を軸にして会員の資質向上のため体系的な研修構築とそれを提供していくための組織再編を検討していくことが必要である。会員交流や入会支援策についてはその効果検証等をしていく必要もある。

年齢は？
144 件の回答



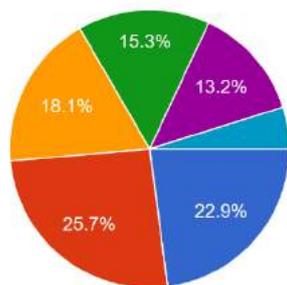
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上

社会福祉士国家試験に合格してから入会するまでに何年？
144 件の回答



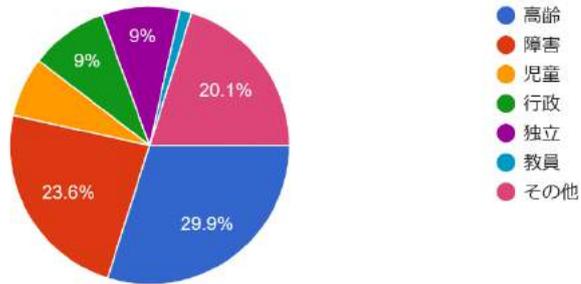
- 5年以内
- 5年から10年
- 10年から15年
- 15年から20年
- 20年から25年
- 25年以上

会員歴は？
144 件の回答

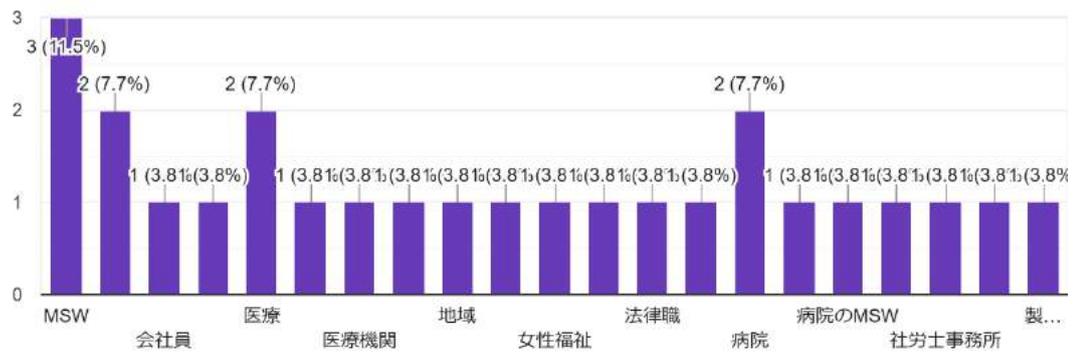


- 5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上15年未満
- 15年以上20年未満
- 20年以上25年未満
- 25年以上

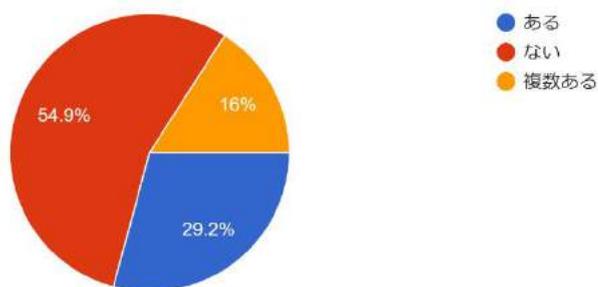
職種は？
144 件の回答



その他の方は記述して下さい
26 件の回答

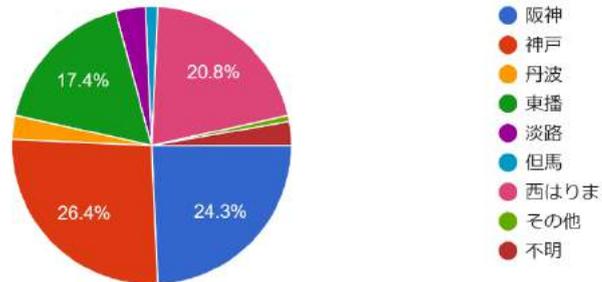


本会の所属委員会は？
144 件の回答



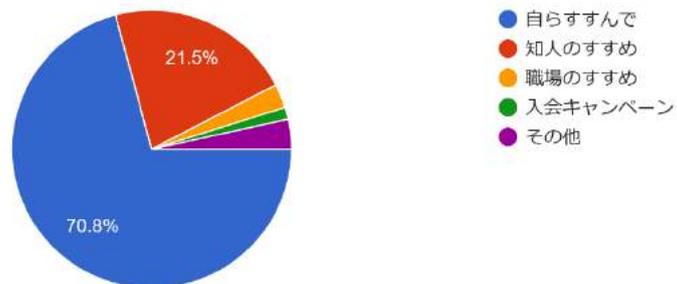
所属ブロックは？

144 件の回答



入会理由は？

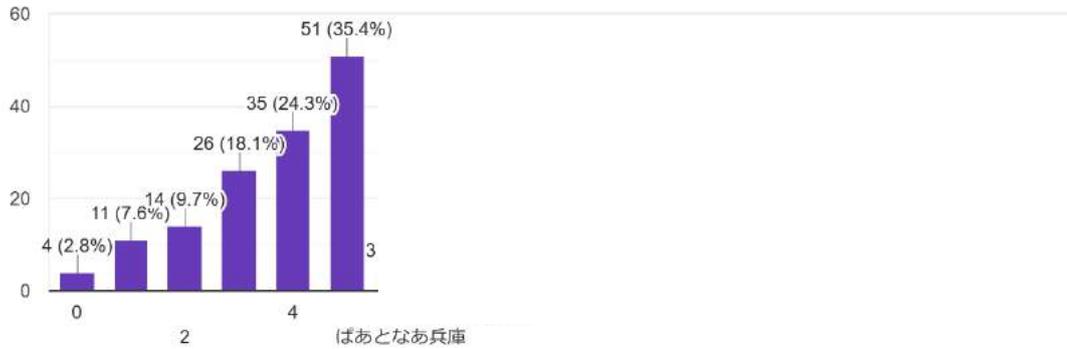
144 件の回答



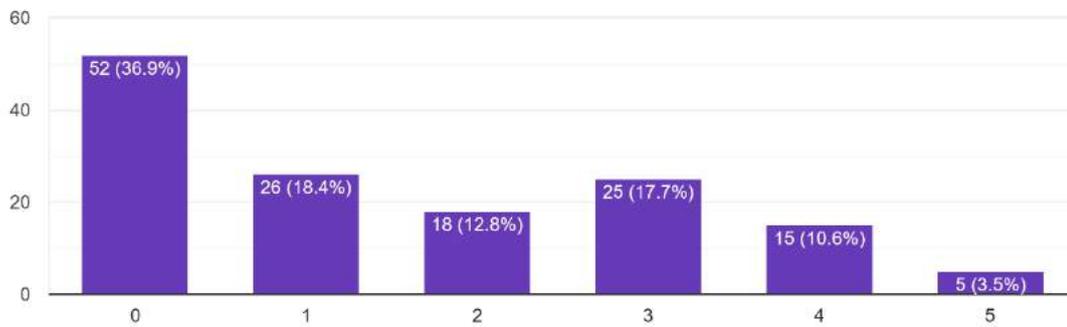
その他の方 6 件

- ・いつの間にか入会していた
- ・新卒から 2 年、大阪に住んでいた時に社会福祉士会に入会していましたが、転職を機に退会していました。で、4 年前に、成年後見人の仕事をしたいと思い、再び入会しました。
- ・福祉専門職にとって入会は当たり前と思っていた（養成校でそう教えられていた）
- ・パートナーに登録して後見制度の仕事をしたい為。
- ・独立のために人脈を広げるため。刺激をもらうため。
- ・入らないといけないと思っていた

本会の活動のうち「ばあとなあ兵庫」の活動をどの程度知っていますか
144件の回答

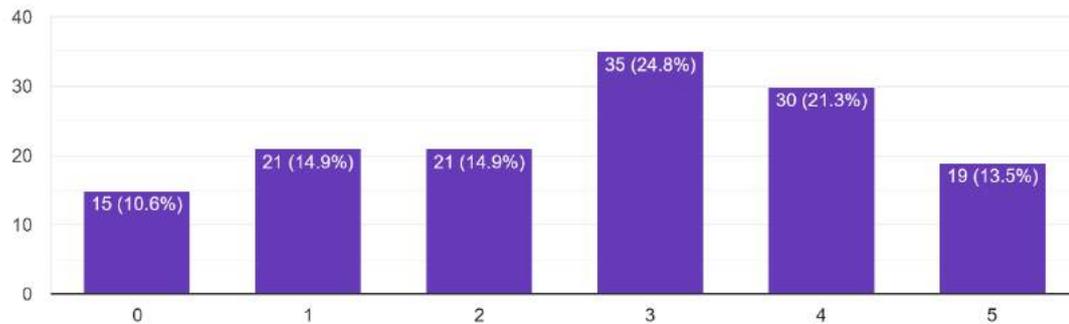


本会の活動のうち 福祉相談センター 「ここねっと兵庫」の活動をどの程度知っていますか
141件の回答



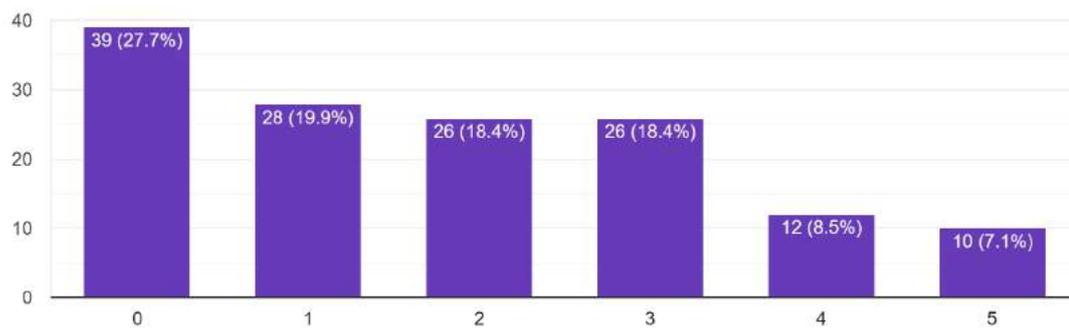
本会の受託事業のうち「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



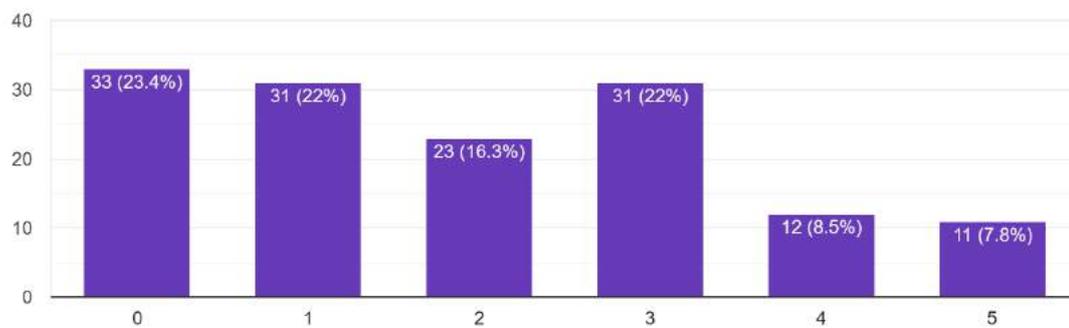
本会の受託事業のうち「医療的ケア児等支援事業

(支援者養成研修・フォローアップ研修・コーディネーター養成研修)の活動をどの程度知っていますか
141件の回答



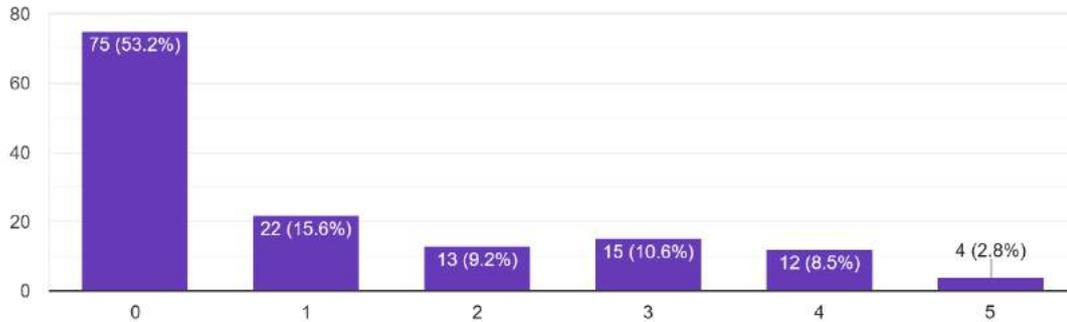
本会の活動のうち「住宅セーフティネット事業(住宅確保要配慮者居住支援法人)」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



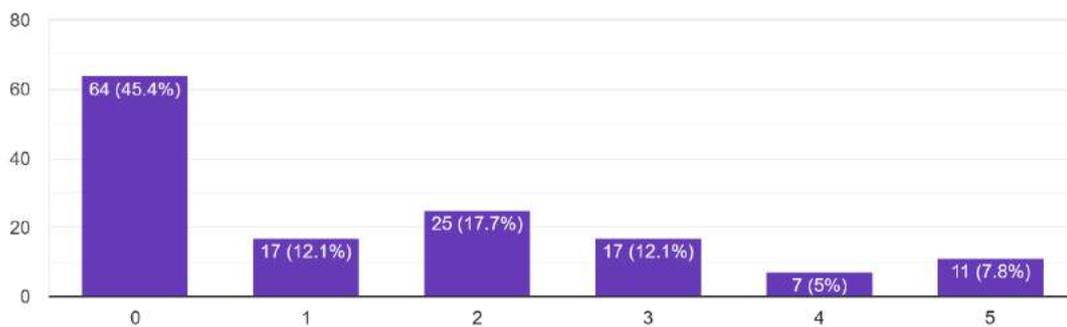
本会の受託事業のうち「JR 西日本相談センター」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



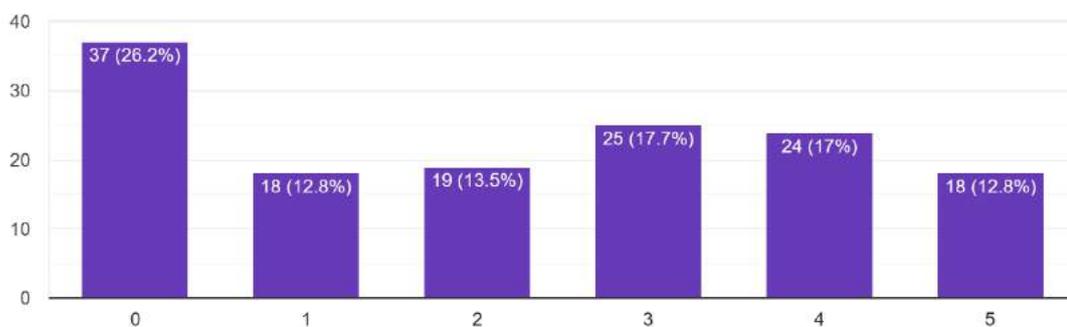
本会の受託事業のうち「兵庫県 障害者差別解消相談センター」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



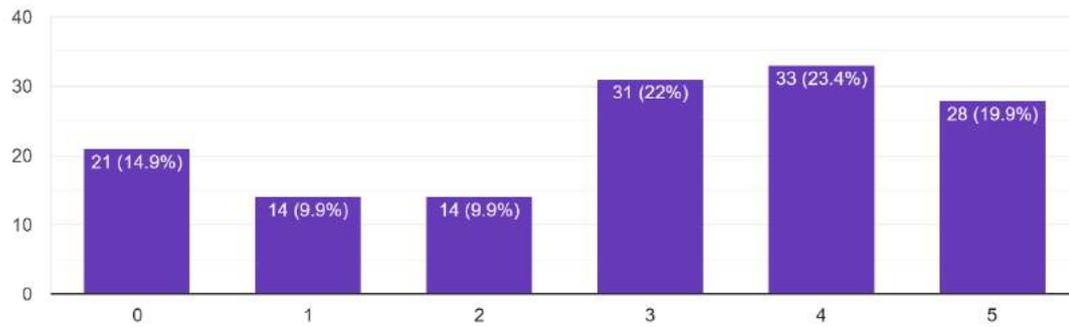
本会の活動のうち「防災対応力向上・支援者理解研修」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



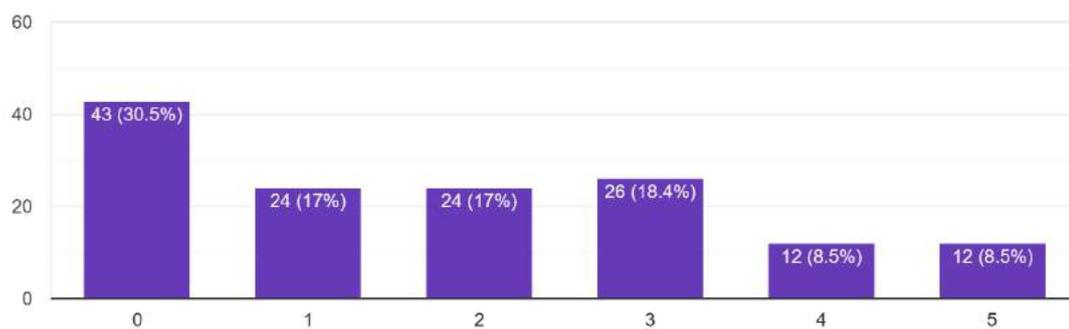
本会の受託事業のうち「高齢者虐待対応力向上研修・障害者虐待対応力向上研修」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



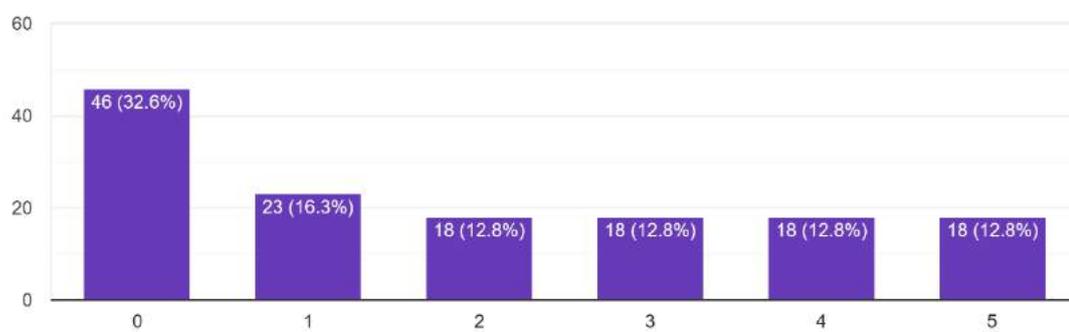
本会の受託事業のうち「相談対応力向上研修」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



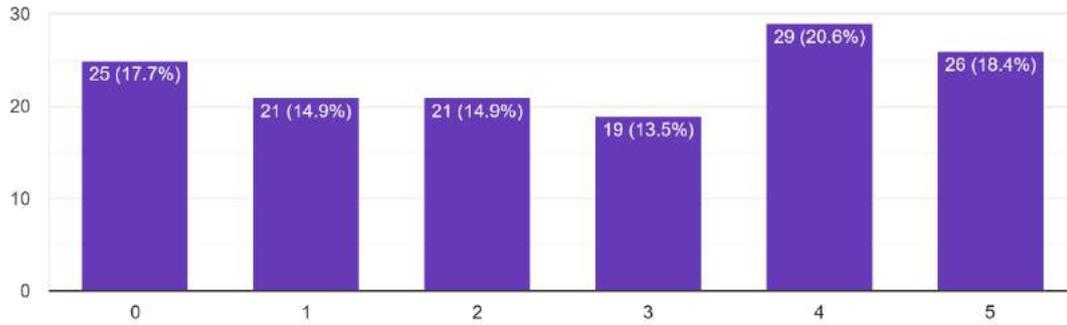
本会の活動のうち「兵庫福祉セミナー」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



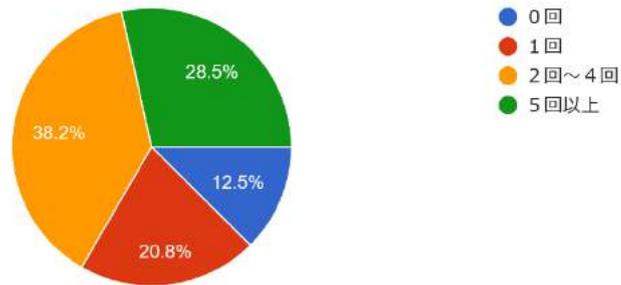
本会の活動のうち「ソーシャルワーカーデー」の活動をどの程度知っていますか

141件の回答



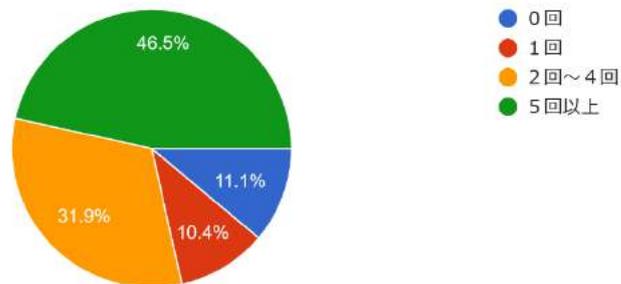
1年以内に本会主催の研修や行事に何回参加しましたか？

144件の回答



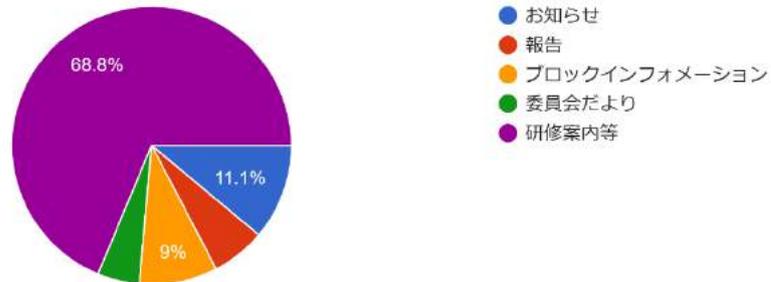
1年以内に本会のホームページを何回見ましたか？

144件の回答



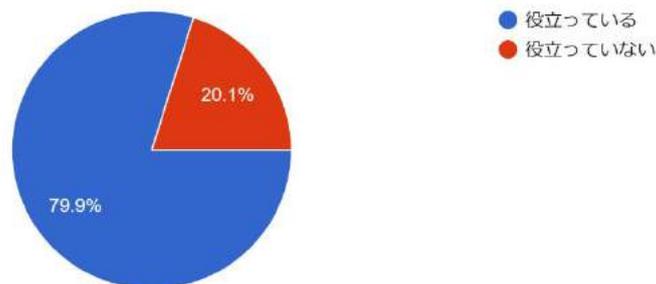
このとおり通信で1番関心の高いものを一つ選んでください

144件の回答



会員であることがあなたの業務に役立っていますか？

144件の回答



【役立っている方は、どのような事に役立っているか記述して下さい】

137件回答 ⇒振り分け141回答（複数項目を記述した方もいるため）

役立っている方は、どのような事に役立っているかについて、自由に意見等を求めた。得られた主な回答を内容ごとに分類した（パーセンテージは、小数点以下を四捨五入で処理しているため、合計は100にならない）。

① つながり・ネットワークがひろがった 34回答（24%）

- ・会員と関係機関のネットワーク
- ・他機関の社会福祉士とのネットワーク形成
- ・地域のネットワーク形成の充実
- ・困った時に同職に相談しやすい地域のネットワーク形成の充実
- ・専門職との連携

- ・児童への言葉かけや職員や他機関との連携をすることについて、こちらでできることがあれば研修を通して仲間ができることでネットワークが広がる、等

② ばあとなあ活動・後見活動 7回答（5%）

- ・成年後見の受任をしているので
- ・成年後見事務を行う事
- ・成年後見人としての活動やケアマネジャーとして役立つ研修に出会えること、等

③ 知識向上・自己研鑽・研修参加に役立つ 44回答（31%）

- ・知識の向上
- ・研修で、色々な情報を得れる。他の社会福祉士の方の話が聞ける。情報誌により、新しい制度や国の方針などについて把握して、今後の社会福祉士の在り方のようなものを感じとることができる
- ・自己研鑽
- ・資質向上、社会や福祉の動向の理解
- ・専門外の研修で知り得た知識情報により困難事例の家族支援で役立った
- ・実践の発表の場を頂いている
- ・社会福祉士とは何をやる資格かかんがえながら勤務できている
- ・学ぶ機会、他分野の発表や研修を受ける機会を得やすく、仕事をする上でいろいろな視点を持つきっかけになってきてきると思います
- ・対人援助場面で倫理綱領、行動規範が指針となっていること
- ・多様な専門職の中でも「社会福祉士」固有の専門性を認識する機会が多いと感じている
- ・複数の分野のソーシャルワーカーの視点を意識して仕事ができる
- ・研修や人的交流の中で得られるものが業務に活かせる、等

④ 情報収集に役立つ 40回答（28%）

- ・最新の情報が得られる
- ・各関係機関との情報交換
- ・研修情報が送られてくるため、研修を受けやすい
- ・高齢以外の福祉情勢を知ることができる
- ・他分野（医療、高齢、児童、権利擁護、司法福祉、地域福祉）の動向を知る機会
各福祉分野のつながりから情報提供あり共有ができたこと
- ・委員会からの他分野の情報を聞く事ができるから
- ・他の人や視点情報を知れる
- ・国や県の方向性が分かる

- ・社会的要請を知ることが出来る、等

⑤ その他 6回答 (4%)

- ・仕事が会活動なので仕方なく
- ・委員同士の協力関係から仕事の支援をしてもらえる
- ・実習生の受入と指導など
- ・これから仕事をする予定でいるので役立つと考えています。
- ・採用条件、等

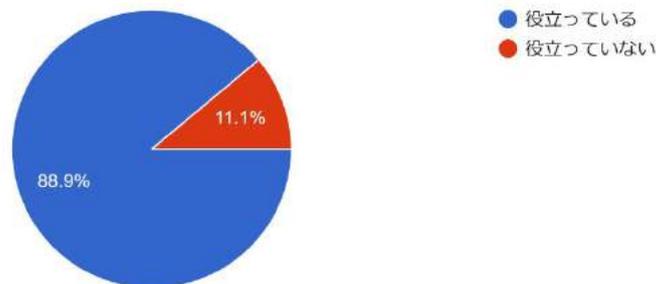
⑥ 役立っていない 10回答 (7%)

【説明・考察】

ほぼ全ての回答が、ネットワーク形成、研修・自己研鑽、情報収集に集約されている。どんな情報を得ているかについては、最新情報・研修情報・他分野の情報・世の中の動き、が挙げられている。委員会活動、ブロック活動を通じてネットワークが形成されることが多いと思われるが、活動に参加しなければネットワーク形成等のメリットが感じられにくくなっている。

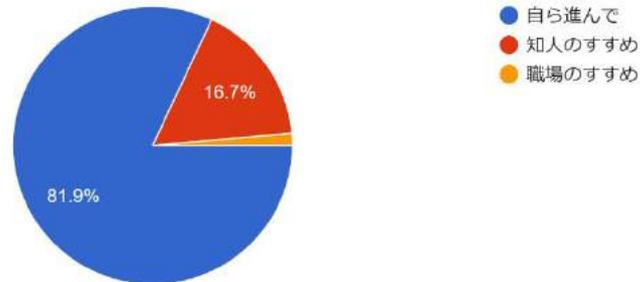
会員であることがあなたの専門性の向上に役立っていますか？

144件の回答



本会活動(研修・行事等)の参加のきっかけは？

144 件の回答



【本会活動(行事・研修等)で最も印象に残っているものは？(自由回答)】

8 2 件回答

本会活動(行事・研修等)で最も印象に残っているものについて、自由に意見等を求めた。得られた主な回答を内容ごとに分類した(パーセンテージは、小数点以下を四捨五入で処理しているため、合計は100にならない)。

① 研修 53回答(65%)

- ・基礎研修(43件)
- ・BCP研修
- ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修
- ・防災研修
- ・SSW研修
- ・社会福祉士実習指導者研修
- ・司法に関する研修
- ・マインドフルネス研修
- ・フォレンジックソーシャルワーク、等

② 施設見学 2回答(2%)

- ・施設見学(べてる)、等

③ ぱあとなあ 3回答(4%)

- ・ぱあとなあ養成研修
- ・ぱあとなあの登録者交流会、等

④ ブロック活動 4回答（5%）

- ・ブロック活動
- ・西播磨ブロック活動
- ・ブロック研修
- ・ブロック学習会

⑤ 委員会活動 7回答（9%）

- ・障害福祉委員会 クローバー上群ブランド
- ・以前国試対策委員会に所属していました。受験生との合格祝賀会がうれしかったですね。
- ・いくつかの委員会立ち上げに参加したこと。
- ・ソーシャルワーク研究委員会での勉強会の進行をしたこと。
- ・研修員会の各活動
- ・委員会の活動（複数参加しているが、どの委員会も印象的）
- ・更生支援員会の活動

⑥ 行事 8回答（10%）

- ・ソーシャルワーカーデー
- ・近畿ブロック兵庫大会
- ・30周年記念行事
- ・社会福祉セミナー
- ・はじめのいっぽ
- ・リモート新年会
- ・全国大会への参加
- ・まちかど相談会

⑦ その他 5回答（6%）

- ・滞在外国人
- ・丹波市の大雨被害に伴う支援活動
- ・（地域包括支援センター向け）相談対応力向上研修シリーズ
- ・どれも平均的に役に立っています。
- ・組織力

【説明・考察】

本会活動で印象に残ったものとして、「基礎研修」という回答が52%、過半数の割合を占める結果となった。それほど、基礎研修の内容や取り組みは、会員にとって影響力

のある研修であることがわかる。基礎研修の取り組みの維持・向上は、本会会員のメリットや、非会員の入会促進につながるきっかけになる可能性が高い。また、基礎研修での取り組みは、他研修の参考になる。

【組織力を向上させるためには何が必要か思いつくことをいくつかでも記述してください】 137件回答 ⇒振り分け142回答（複数項目を記述した方もいるため）

組織力を向上させるために何が必要か思いつくことについて、自由に意見等を求めた。得られた主な回答を内容ごとに分類した（パーセンテージは、小数点以下を四捨五入で処理しているため、合計は100にならない）。

① 会員のメリットが実感できる 10回答（7%）

- ・会費に見合ったメリットが欲しい
- ・組織が会員の資質向上に役立つこと
- ・社会福祉士の価値を上げる
- ・組織に属することで得られるものが明確であること、等

② 魅力ある研修を企画する 13回答（6%）

- ・質の高い研修実施、
- ・魅力的な研修企画
- ・オンライン研修は、時間がなくても参加できるので、今後も継続してほしい
- ・基礎研修3まで受けたので勉強になった
- ・社会福祉以外の専門職と一緒に研修を受ける、等

③ つながりができる 32回答（23%）

- ・懇親会の開催
- ・横のつながりを広げる
- ・会員同士のつながり
- ・どなたとでも話しやすい雰囲気。なんでも提案できる柔軟性。
- ・新規加入者と諸先輩方との交流会
- ・全会員がメーリングリストなどでつながっていること
- ・少しでも多くの会員を地区ブロックか委員会活動につなぐこと
- ・自分の勤務先だけではなく、研修やカンファレンスなど、他職種との関わり
- ・会員と非会員の交流、等

④ ブロック活動を活性化する 2回答（1％）

- ・ブロック活動を活性化し、若い世代の社会福祉士が参加しやすいようにする、等

⑤ 広報力を高める 16回答（11％）

- ・未加入の社福士に出会ったら、研修情報などを紹介する
- ・非会員への周知
- ・活動予定の告知だけでなく、活動報告があると嬉しい
- ・行政や社協と協力して一般の方に向けたフェア等を開催する
- ・何かの委員会に所属しないと具体的な活動内容が伝わらないので、何かの委員会に所属させるような働きかけをする
- ・委員会活動をFacebookなどにまめにアップして、身近に感じてもらえるようにする
- ・このとり通信等を通じて、取り組み内容や成果を周知する、等

専門性の向上 3回答（2％）

- ・調査研究をしっかりとって専門性の向上
- ・社会福祉士の専門性についての共通理解、等

新入会員へのアプローチ 4回答（3％）

- ・新入会員がブロック活動や委員会活動に参加しやすい環境であること
- ・新入会員への説明（各委員会、各ブロックの取り組み）
- ・会員にならない社会福祉士の実態の把握、等

組織の仕組み 37回答（26％）

- ・明確な組織の将来ビジョンの明確化、言語化
- ・スタッフ間のお互いのスタッフを思いやる気持ち、配慮
- ・魅力的な活動、透明性の高い運営、過度に負担にならずに参加できること
- ・認定社会福祉士など、自己研鑽を積むことのできるカリキュラムをしっかりと設け、それを継続的に受けるようにする動機づけをする
- ・社会福祉士の地位向上
- ・社会福祉士としての業務独占分野の開発
- ・会員率アップ
- ・このようなアンケートを定期的に行い、分析し、社会情勢と会員のニーズに合わせた組織作りを、その都度ブラッシュアップしていくこと
- ・社会福祉士会に入ることが当たり前という風潮作り
- ・県士会での活動が職場、あるいはキャリアとして評価される仕組み等
- ・会員の一部しか参加せず、重複して役をこなす例が多く感じるので、もっと巻き込む

ためには、人が足らなければ手弁当でという福祉の悪い慣習を捨てて、十分な日当を出すこと

- ・組織構造の見直し
- ・組織としてわかりやすい形を示すこと、等

値段・会費を下げる 4回答（3%）

- ・研修の値段を下げたい
- ・年会費を安くすること、等

その他 21回答（15%）

- ・敷居を低くする（仲間内にならず）
- ・社会福祉士会に加入の人と加入していない人との差で、何か職場に違いが生まれるような活動を行う
- ・目先の奇をてらったような企画やばらまき政策はやめるべきである
- ・アンケートを取って意見を収集し生かす
- ・会員数のアップ、等

【説明・考察】

分類した内容で最も回答が多かったのが、組織の仕組みに関する回答であった。組織構造の見直しや組織の将来ビジョンの明確化、という意見があった。次に、「つながりができること」に関する回答、「会員としてのメリットが実感できる」に関する回答が多い。会員がメリットを実感しやすくする為には、他項目アンケートの「本会に所属して良かったこと」にも挙げられている、魅力ある研修機会・人とのつながり・自己研鑽、に関する取り組みの向上が求められる。どのような研修が会員にとって魅力に感じるのか、人とのつながりを感じる環境や交流の場は何か、について考え、組織の仕組みづくりをしていくことが肝要である。また、社会福祉士会の活動予定のみならず、活動報告についての広報も行い、会員にとって、本会が何をしているのか知ってもらう事が大切である。

【本会に所属してよかったと思ったことを記述してください】

137回答⇒振り分け137回答（なし7回答を含む）

本会に所属してよかったと思ったことについて、自由に意見等を求めた。

得られた主な回答を内容ごとに分類した（パーセンテージは、小数点以下を四捨五入で処理しているため、合計は100にならない）。

① つながり・ネットワークが広がった 94回答（69%）

- ・ネットワークが広がった
- ・他機関の社会福祉士と知り合いになることで、日常業務がしやすくなった。
- ・仕事を得ることができた
- ・ブロックの活動に参加することで、地域でのネットワークが広がり、仕事がしやすくなった。職場内では言えない悩みを、他職場の社会福祉士と相談し合えることができた。
- ・いろいろな分野の仲間に出会えること。そして他の分野の専門性を教えてもらえること。
- ・先輩方の実践などを手本に独立できた事。
- ・色々なジャンルの社会福祉士に出会えた事
- ・委員会活動で他の方との話を聞くことができ、相談もしやすいから。
- ・社会福祉士同士の関係をつくることができた。職場以外の関係で共感できることが多く、自身のモチベーション向上につながっている
- ・基礎研修を通して同職と知りあえたこと。
- ・福祉職における各種専門分野との連携及び専門分野の確認
- ・高齢者虐待にかかる活動に参加できたことで弁護士の方々との距離が縮まったこと、等

② 研修・基礎研修を受けられる 11回答（8%）

- ・自己研鑽の場としての各種研修や情報提供
- ・研修が充実している事。
- ・研修を通して知識、技術が身についた。
- ・いろいろな研修を知り、会員価格で受講することができる
- ・質の高い研修に参加できたこと、
- ・豊富な研修を選択できることが良いと思います。
- ・兵庫県の会が先駆的な取り組みをされていて、参考になる。
- ・基礎研修を受けられたこと、等

③ ぱあとなあの活動参加 5回答（4%）

- ・ぱあとなあの活動があったので、独立するきっかけができました。
- ・ぱあとなあの仕事を請け負えること
- ・後見人養成研修を受講できたこと、等

④ 自己研鑽に役立つ 13回答（10%）

- ・仕事に役立つ
- ・改めて、基礎研修を受けて、社会福祉士とは？という疑問が少し晴れた気がします。社会福祉士会の存在意義を分かったような気がします。
- ・仕事では全く社会福祉士として活動していないが、地域福祉に関わっていくトリガーにはなっていると思う
- ・社会福祉士とは何か、社会福祉士がどのように今の世の中に役立てるかいつも考えられること
- ・福祉情勢の動向を知れる
- ・専門性について考える機会、学び高める機会、がある
- ・考えさせる課題が多いことは良いと思う反面、考えた内容を検証するため、レポートのフィードバックは欲しく思います、等

⑤ その他 7回答（5%）

- ・いいも悪いの職能団体の危うさを実感したこと
- ・兵庫県社会福祉士会、所属の知名度により、信用度が上がる
- ・専門職団体としての情報提供、等

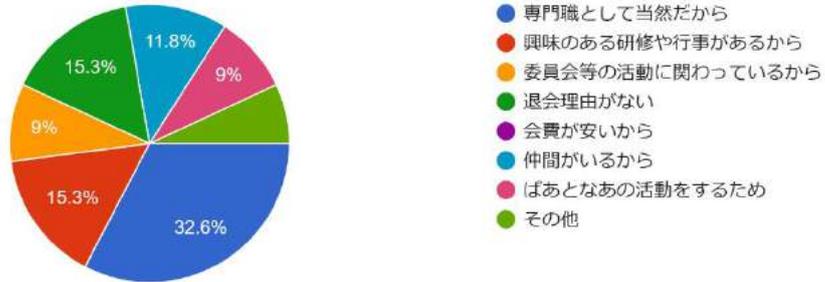
⑥ なし 7回答（5%）

【説明・考察】

社会福祉士会に所属して良かったことの理由の大半が、「ネットワークが広がった」「人とのつながり」であった。ただ、つながりを感じる時は、委員会活動やブロック活動、研修を通じた時と思われるので、そのような活動に参加していない会員にはメリットが感じられない可能性がある。人とのつながり以外の理由の、自己研鑽やぱあとなあ活動、研修に関する意見にも着目し、どのような取り組みが、会員がメリットを感じているのか、自己研鑽（専門性の向上）につながるかを考えていくのが肝要と思われる。

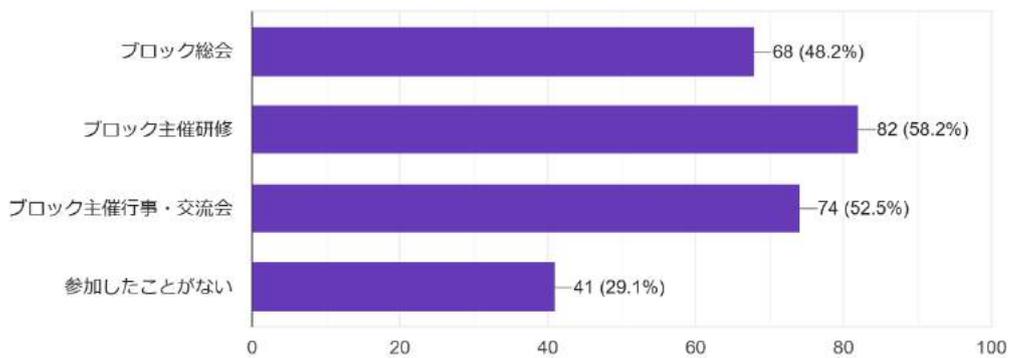
会員を継続し続ける理由は？

144 件の回答



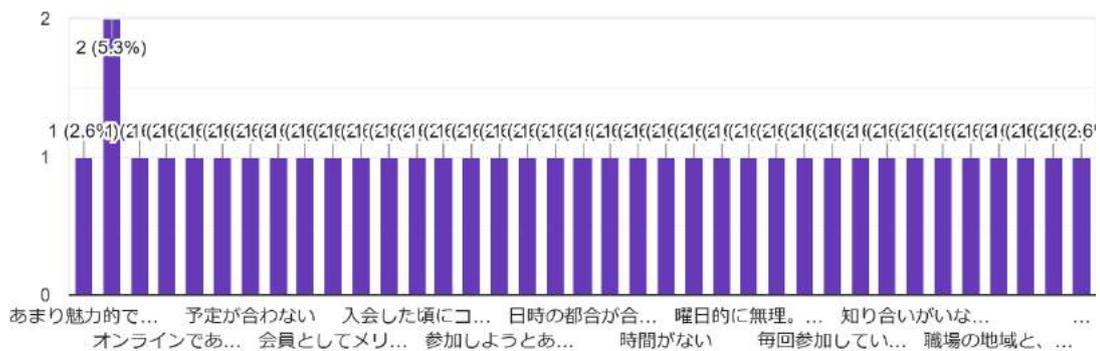
ブロック活動に参加したことがありますか？

141 件の回答



ブロック活動に参加したことの無い方の理由は？

38 件の回答



【入会者数を増やすためにはどのような取り組みが必要ですか？（回答自由）】

入会者数を増やすためにはどのような取り組みが必要か思いつくことについて、自由に意見等を求めた。

得られた主な回答を内容ごとに分類した（パーセンテージは、小数点以下を四捨五入で処理している）。

回答数 70回答

① 会費を下げる 6回答（9%）

- ・会費を安くする。無料の研修を増やして、会員のメリットを感じられるようにする。会費に対する費用対効果があると感じさせること
- ・最初の1年は会費を無料にする。
- ・「入会しないとできないことがあれば、そのために入会する方はあると思いますが(自分もそうです)、それが無ければ、普通に、意識せず仕事していれば、社会福祉士は名乗れ、給与面の手当ももらえるでしょうし、入会しようとのモチベーションは上がらないかと思います。あと、実際に入会して研修を受けたりしたことで会費も納得はいきませんが、決して安い会費ではないので、そこはネックになるのではと思います。再入会してから感じたことですが、会からの情報を受けることができることは、とても価値があると思います。まずは入り口のコストを抑えて、メーリングリストのメールを受けられるだけの会員なら、格安の会費にするとかどうでしょう？受けられるサービスに応じて、費用がかかる応益負担な会費だといいたくないかと思います。機関誌の年間購読料を設定するとか、会員メニューを細分化してはどうでしょうか？事務量は莫大に増えますが。。。」、等

② 入会メリットを感じてもらう 9回答（13%）

- ・福祉専門職同士のつながりにメリットを感じてもらう
- ・入会のメリットをもっと知ってもらう。
- ・会員であるメリット（研修等での費用特典、会員同士の交流等）が目に見えないと入会したいとは思えない。※会費に見合った内容だと思えるかどうか
- ・専門性を得られる団体として活動を続ける
- ・入ったら何か得られる感もてるような研修や交流の場を作る、等

③ 魅力を増やす 8回答（11%）

- ・魅力的な研修と交流
- ・若い人たちが関心を持ってる研修を増やしていく

- ・初めて研修に参加しても楽しめる雰囲気が必要。
- ・会員・非会員・今後資格取得を目指す方たちとの交流の場を作る、等

④ ブロック活動に力を入れる 2回答(3%)

本部や委員会ではなくブロック活動に力を入れる

ブロックでの活動を活性化する。ブロック内での仲間づくりをする取り組み強化、等

⑤ 広報(受験生・非会員へ)に力を入れる 22回答(31%)

- ・入会したメリットを宣伝する。
- ・社会福祉士会会員が養成中の学生に「入会の意義」熱く語る機会を増やす
- ・周囲の社会福祉士で入会していない人へのアピール
- ・包括、行政に会員募集のパンフレットを置いてもらい、パンフレットに興味ある研修や交流会などを掲載する。
- ・お徳感が伝わる発信をもっと増やすのはどうでしょうか。今時でXとかインスタも活用してはどうでしょうか。
- ・入会することのメリットを周知していく。非会員の方にも試してブロックの研修や交流会に参加してもらう機会をつくる。
- ・知名度向上(行政とタイアップ活動)
- ・広報、宣伝に力を入れる。大学や専門学校との連携を深めて、学生に社会福祉士会に入るの当たり前にも思ってもらうようにする。
- ・社会福祉士の専門性は具体的にどのようにクライアントのウェルビーイングに役立っているのかの周知徹底が必要かと思います。
- ・専門性を活かした取り組みと成果の発信(生きた事例がSWの魅力高めると思うため)
- ・活動に参加していない人にとっては、会報誌もホームページも、一方通行のように感じているのではないか?と思う。特に県北部は太平洋側が心理的にも遠い気がする。年に何回かキャラバン隊などを結成し、ソーシャルワーカーデイのようなイベントを開催するなどして、アピールしてみてもいいだろうか、等

⑥ 仕組みの見直し 13回答(19%)

- ・社会的地位と給料等への反映
- ・社福のキャリアラムの中に、加入する大切さなどを盛り込む事ができれば。就職活動で社福として雇って貰えないパターンもあり、活かす事ができないことがある。社福の活動の場の拡大も必要だと思います。活動できないから入会してない人も沢山いますので。

- ・知識だけでなく、職能団体である以上個々の生活にプラスになるものでなければならぬと思いますので経済的メリットを持たせる取り組みや福利厚生を充実させる取り組み、会員のメンタルサポート、会員のための法律相談など。
- ・資格取得後すぐに会員申し込みができる機会を作る
- ・入会しやすいための相談会等の開催
- ・会員であることで仕事の幅が増える（業務独占なら尚よい）ようなことがあれば・・・
- ・社会福祉士を取得すると入会しないといけないという仕組みを作る
- ・社会福祉士の名称を使用するにあたり社会福祉士会入会を要件とすること、等

その他 10回答（14%）

- ・社会福祉士の現場の意見を聞く。障害者などニーズを聞く。他の専門職団体と連携、意見を聞く。実際私が障害当事者だが、希望出すも冷たくされる状況の改善
- ・地道に活動続けるしかない。
- ・社福祉は学ぶ意識は高いと思いますが、学んだ分野に携わる機会がなかったりします。見聞を広げるだけで終わらないよう体験学習の機会があれば、より関心が深まり専門職意識が高まることで自ずと入会につながると思う。学んだ社会を知るだけでは難しそう、大変そう..で終わってしまい専門職としてのスキル向上に繋がらない。また、携わっている方から特権意識の高慢さを感じることは専門職として共に成長して行こうという気概が感じられず逆に排斥されているようにも取れるため残念なことと感じます。
- ・仕事としての活動報告や取り組みもさることながら、ボランティア有給休暇があるように、社会福祉士もボランティア活動の実践報告をしたらどうか？！
- ・入会していない人の話を聞くと「会費が高い」「入会してなくても仕事に影響がない」「そもそも社会福祉士の資格で仕事をしていないので入る意味が分からない」など言います。特に会費の壁は大きいようです。会費分だけのメリットを感じてもらう取り組みが必要かと思います。加入率の高い他の専門職団体の取り組みを参考にしてはいかがでしょうか。
- ・ニーズを聞き取る。
- ・入会しなかった友人の理由は、継続していくには会費が高い事と認定社会福祉士として登録をすることについて考えてしまうとのことでした。その2点が改善できれば会員の増加に繋がるかと思います。
- ・現場で孤立しないよう、支え合える仕組みが欲しいです。なかなか休みも少なく、会への参加も難しいのも現状で、今は義務感だけで続けていますが、研鑽や会員との繋がりなどのメリットもなく、貢献も出来ておらず脱会も考えています。私は会員同士の専門性が大きなメリットだと思いますので、顔の見える繋がりがあれば現場でも活かすことができると思います、等

【説明・考察】

「広報に力を入れる」ことに関する回答が一番多い結果であった。次に、「仕組みの見直し」に関する回答が多い。広報は、社会福祉士を目指す受験生や、非会員、に対する広報以外にも、連携する関係機関、行政、地域住民の方にも社会福祉士及び社会福祉士会の活動について知っていただくことは、社会福祉士の地位向上に寄与していくと考えられる。また、入会のメリットを感じてもらうことも肝要であり、魅力的な研修やネットワークが広がる交流の場を求めていることが、他項目のアンケート結果と照らし合わせるとわかる。